

■コメント

1. RSウイルス感染症

定点当たり3.00人と、前週と比べて約3.1倍に増加しました。患者は0歳、1歳に多く、1歳以下が全体の78.5%を占めています。

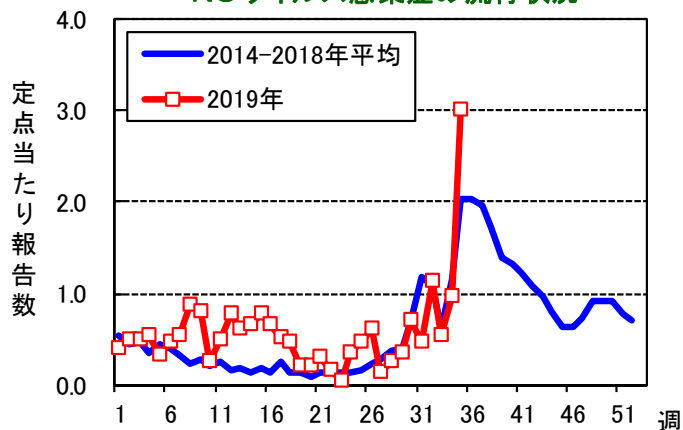
RSウイルス感染症は、飛沫感染や接触感染で感染し、1歳未満の乳児は重症化することがあるため、特に注意が必要です。

手洗いの励行、咳などの症状がある場合にはマスクを着用する、おもちゃや手すりなどはこまめに消毒するなど、感染予防対策を徹底しましょう。

2. デング熱

1件の報告があり、今年の累計は3件となりました。(次頁参照)

RSウイルス感染症の流行状況



【参考】RSウイルス感染症Q&A(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.html

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
小児科	インフルエンザ	9	0.25	0.11		小児科	流行性耳下腺炎	3	0.13	0.48	
	咽頭結膜熱	19	0.83	0.45	↑	眼科	RSウイルス感染症	69	3.00	2.03	↑
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	21	0.91	1.29	↗	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.08	
	感染性胃腸炎	89	3.87	4.20	↔	眼科	流行性角結膜炎	7	0.88	1.30	
	水痘	3	0.13	0.36		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	39	1.70	1.91	↗	基幹	無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	伝染性紅斑	17	0.74	0.18	↔	基幹	マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.23	
	突発性発しん	9	0.39	0.47		基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	24	1.04	1.01	↗	基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.03	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	5	115	男性(30歳代)・推定感染地域: 国外・1人、女性(50歳代)・1人、女性(70歳代)・2人、男性(80歳代)・1人
4	デング熱	1	3	女性(20歳代)・推定感染地域: 国外
5	梅毒	2	60	女性(20歳代)、男性(30歳代)
5	百日咳	1	55	女性(10歳未満)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	第31週 第32週 第33週 第34週 第35週	インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウイル ス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺 炎	クラミ ジア肺 炎	(ロタウ イルス)	感染性 胃腸炎
報告数	広島市	第31週	1	6	32	98	3	141	12	7	34	3	11	-	5	-	-	-	-	-	-
		第32週	8	13	29	80	12	93	5	12	29	1	25	-	4	-	-	-	-	-	-
		第33週	3	5	20	39	4	23	1	6	14	1	11	1	3	-	-	-	-	-	-
		第34週	3	9	32	91	6	29	17	8	15	1	22	-	3	-	-	-	-	-	-
		第35週	9	19	21	89	3	39	17	9	24	3	69	-	7	-	-	1	-	-	-
定点 当 たり	広島市	第31週	0.03	0.26	1.39	4.26	0.13	6.13	0.52	0.30	1.48	0.13	0.48	-	0.63	-	-	-	-	-	-
		第32週	0.25	0.59	1.32	3.64	0.55	4.23	0.23	0.55	1.32	0.05	1.14	-	0.67	-	-	-	-	-	-
		第33週	0.09	0.25	1.00	1.95	0.20	1.15	0.05	0.30	0.70	0.05	0.55	0.14	0.43	-	-	-	-	-	-
		第34週	0.08	0.39	1.39	3.96	0.26	1.26	0.74	0.35	0.65	0.04	0.96	-	0.38	-	-	-	-	-	-
		第35週	0.25	0.83	0.91	3.87	0.13	1.70	0.74	0.39	1.04	0.13	3.00	-	0.88	-	-	0.14	-	-	-
	全国	第33週	0.23	0.35	0.74	1.91	0.19	3.04	0.29	0.25	0.95	0.06	1.32	-	0.55	0.02	0.06	0.19	-	0.02	
		第34週	0.24	0.41	1.09	2.97	0.24	2.75	0.63	0.46	1.00	0.09	1.37	0.01	0.84	0.02	0.06	0.23	-	0.01	

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
手足口病	発熱(40.0) 熱性痙攣	1	男	2019/07/20	咽頭拭い液 尿	コクサッキーウイルスA6型
その他の消化器疾患	嘔吐 下痢 腹痛	2	女	2019/07/03	糞便	アデノウイルス41型
その他の消化器疾患	腸重積	0	男	2019/07/21	糞便	レオウイルス
その他の疾患	発熱(40.0)	0	女	2019/06/27	鼻汁	パレコウイルス3型
その他の疾患	発熱(40.8) 発疹	0	女	2019/07/06	糞便 尿	パレコウイルス3型
その他の疾患	発熱(37.5) 循環不全 活気低下	0	女	2019/07/11	咽頭拭い液 鼻汁	ライノウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】蚊が媒介する感染症(デング熱、チクングニア熱等)に注意しましょう!

アジア、アフリカ、中南米等の熱帯・亜熱帯地域では、蚊が媒介する感染症(デング熱、チクングニア熱等)が流行しており、全国で流行地域から帰国後に国内で発症する症例(輸入症例)が報告されています。蚊媒介感染症が流行している地域を訪問する際には、次のような対策をとることが重要です。

【蚊に刺されないためのポイント】

- ・長袖・長ズボン、足を完全に覆う靴を履くなど、肌の露出を少なくする。
- ・虫除け剤を使用する。

なお、流行地域から帰国後に、発熱、頭痛、発しん等の症状が出た場合には、蚊に刺されないようにして、医療機関を受診し、渡航歴と蚊に刺されたことを伝えましょう。

【参考】

- ・蚊媒介感染症(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164483.html>

- ・海外へ渡航される皆さまへ! (厚生労働省検疫所 FORTH)

<https://www.forth.go.jp/news/20190409.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2019年第35週(8月26日～9月1日)